

早口でしゃべりまくったのに、何かは伝わったよう

先日、ある児童デイサービスのスタッフと学生ボランティアのを対象に「ご家族との係わり合いを中心に」のテーマで講話する機会を得た。

前半は3人の自閉症児のお母さんからの育児体験発表があり、後半に講話したが、許された時間はわずか1時間だったので早口でしゃべりまくった(^o^)

後刻(日)、次のような初メール(抜粋)をスタッフや学生からいただき、スピードを上げてしゃべりまくった割には、何かは伝わったようでホッとした(*^_^*)

・短い時間ではありましたが、考えさせられる一時間でした。

もっとさまざまなお話しを聞きたいと、本当に思いました。

この感想をもったのは私だけではなく、多くの支援員(学生)たちが感じたことでしたので、近いうちに、職員を集めて独自にお話しを聞く機会を設けられたらと考えています。

我々もNPOの人間ですので、自分たちが必要としていることを組織にとらわれずに学びの場を作ることができると思いますし、それが市民活動の一環であり、事業所に貢献することにつながり「福祉」を志すものたちとして、社会変革を考えていけるのだと感じております。

その際には何卒お願いいたします。

・今日は、貴重な講演を聞かせて頂いて本当にありがとうございました。

私は、今日が初めての研修で、来週からボランティア活動が始まります。

活動が始まる前に、なおかつ大学1年生の段階で、今日の阿部先生のお話を聞いたことは、すごく意味があって、とても大きな刺激も受けました。私は幸せ者です！笑

・あんなに聞き入ってしまう講義は久しぶりでした。眠気を感じる暇もなかったです。

先生が少人数での授業の方が……とおっしゃっていた意味も分かりました。

本当にありがとうございました！

こどもの幸せについて自分なりに考えながら活動に取り組んでいきます。

・「与えられる知識は応用が効かない。求める知識が知恵となる」というお言葉がとても心に残りました。

学校の苦手な授業よりも自分が読みたくて読んだ参考書の方が記憶に残っているということはこういうことなのかと思いました。

また是非、先生のお話を聴かせてください。楽しみにしております。

今日は本当にありがとうございました。